


弓削高等学校
<http://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>


こころをこぼす

遥かなる未来へ

70年の絆を胸に


県総体東予地区予選!

平成30年4、5月に愛媛県高等学校総合体育大会の東予地区予選が行われました。テニス部、卓球部、ソフトテニス部、バドミントン部、体育活動部が出場しました。悔しい思いをし、この大会で最後になった3年生もいますが、部活動で培った精神力と体力で希望する進路に向かって突き進んでほしいです。


弓削高校全国募集!

来年度から全国募集を始める弓削高校は、高校生をホームステイさせてくださるご家庭を探しています。心当たりがあるご家庭は弓削高校教頭(0897-77-2021)へご連絡ください。

創立70周年!

今年度は弓削高校が創立して70周年を迎えます!

5/18(金) ドローン空撮

9/ 2(日) 記念運動会

11/3(土) 記念式典

- ・記念講演会 (正原 聖也 氏)
- ・記念芸術鑑賞会 (デイヴ・シンクレア 氏)

11/4(日) 記念文化祭


 ロゴマーク
作: 藤本夢生

上島の遺跡⑦


弥生土器が発見された魚島の篠塚漁港

水中考古学を取り上げた新聞記事が目にとまりました。水中考古学が産声を上げてから半世紀以上が経ち、日本でも調査事例が増えつつあるようです。平成24年に、長崎県松浦市にある蒙古襲来に関わる戦場跡である鷹島神崎(たかしまこうざき)遺跡が水中遺跡として初めて国の史跡に指定されました。1281(弘安4)年の弘安の役で沈没した元軍の船団の船体の一部や積み荷が鷹島沖の海底でまとまって確認されました。

今から約7万年に始まり約1万年前に終了した最終氷期であるヴルム氷期を過ぎると地球温暖化のため海面は上昇しました。陸地となっていた瀬戸内地域には海水が流入し始め、縄文時代早期には現在のような瀬戸内海の地形が形成されました。弓削島や津波島では、これまでナイフ形石器をはじめとした後

期旧石器時代の石器が発見されており、周辺の海底にはその時代の遺跡が無数に水没していることが考えられます。

芸予諸島やその周辺では、底引き網や潜水漁、港の工事、浚渫等で海底にある遺物が発見されることがあります。今治市の波方港では、フェリー発着場の工事の際に海底から縄文時代後期の注口土器が引き上げられました。魚島の篠塚漁港では、浚渫の際に海底から弥生時代中期前葉の壺形土器が引き上げられました。中世以降の海運の発達とともに、海底から引き上げられる資料は増加するようです。

文献資料の中には、近世以降の瀬戸内海での遭難や座礁についての海事記録が多く見られます。水中考古学の進展がそのような悲しい海難事故の実態を明らかにするのもかもしれません。


 教育課
学芸員
有馬啓介


弓削商船高等専門学校
<http://www.yuge.ac.jp/>

 新入生
136名が入学

**四国地区高専春季テニス大会
男子団体3位の成績**

3月22日(木)、23日(金)の両日、愛媛県かわのえテニスセンターにおいて、2018年四国地区高専春季テニス大会が開催されました。

四国各県から監督、コーチ9名と50名の学生が集い、熱戦を繰り広げました。



本校テニス部は、男子団体戦において3位、また男子個人戦シングルスB級では準優勝とい

う成績を収めました。

平成30年度入学式を挙

4月8日(日)に平成30年度弓削商船高等専門学校入学式を挙行了しました。今年度は本科入学生128名(編入学生2名、留学生2名を含む)、専攻科入学生8名の計136名の学生が入学し、式場はご来賓、教職員、在校生、そして新入生の保護者で埋め尽くされました。

式ではまず、入学許可が行われ、続いて本科入学生及び専攻科入学生による入学宣誓が行われました。その後、校長から「高専は、自ら取り組む人にとっては非常にやりがいのある学校です。いろいろなことに挑戦し、

あなたの夢を実現させてください。」と式辞がありました。

そして、入学生を代表して情報工学科の原楓子さんが「夢を叶えるために何ごとにも全力で挑戦していきたい。」と希望に満ちた答辞を行い、式はクライマックスを迎えました。

式に出席された多くの保護者にも見守られながら、新入学生の弓削商船高等専門学校での新たな生活が始まりました。


島おこし協力隊活動報告

はじめまして。4月より島おこし協力隊に着任致しました、西尾 諭(にしお さとし)と申します。このたび、妻と娘の3人で上島町へやって参りました。産業振興課に所属し、せとうち交流館を拠点として活動しています。

さて、私は就農を希望して上島町へやってきました。これまでに農業経験はなく、幼い頃に祖父母、母の


 島おこし協力隊
西尾 諭

幅広い農業を志して

農業を手伝っていた程度です。殆どのことは忘れましたが、掘った芋を投げたり、無花果の汁で手を荒らしたようなことはよく覚えています。家の庭に実った柿は嫌いで殆ど食べませんでしたが、グミの実は好物でした。そんな幼い記憶が手伝ったのかどうか分かりませんが、気づけば農や食関係の書籍を読むようになり、雑学的に勉強しているうちに農家を志していました。野菜や果樹だけでなく野草、ハーブ、養蜂にも興味があり、また食用だけでなく漢方や染料として、または観賞用としても植物を扱えるようになりたいと思っています。

現在は、先輩協力隊員と共に農家さん、養蜂家さんを紹介して頂き

=新協力隊員着任=


ながら勉強をしています。先日は、養蜂家さんの元で巣箱の内検に立会いさせて頂きました。私にとってはとても大きな前進です。巣にはたっぷりの蜜が詰まっており、女王蜂も働き蜂もみな活発に動き回っていて、なんとかわいいものかと思動しました。

それでは、今後ともよろしく願い致します。